

「富士見市文化芸術振興基本計画(案)」に対する意見募集の結果について

平成31年3月26日
地域文化振興課

富士見市は「富士見市文化芸術振興基本計画(案)」に対する意見の募集を、平成31年2月1日から平成31年2月28日まで行いました。その結果10件のご意見をいただきました。お寄せいただいたご意見と当該意見に対する富士見市の考え方は下記のとおりです。

パブリックコメント実施方法

- 募集期間 平成31年2月1日～平成31年2月28日
- 告知方法 広報ふじみ、市役所ホームページ
- 意見提出方法 郵送、ファックス、電子メール

番号	頁	章	意見概要	対応方針	市の考え方
1	2	1	2頁6行目および表、23頁脚注内2か所、38頁図内2か所の「平成」 新元号前に本計画が公表されるのであれば、平成31年以降の年の表記は、各記述において西暦を併記した方がよいと思います。あるいは、冒頭凡例ページに平成・新元号・西暦の読み替え表を用意する方法もあります。	原文のとおりとし、貴重なご意見として承ります。	市では、法令及び国、県等からの通知等において慣例として和暦(元号)が用いられていることや市の例規及び文書においても同様であること及び市民生活に広く定着していることから、今後も市の文書における日付の表記は原則として和暦(元号)を用いることとしています。 また、本計画は10年計画であり、今回は中間見直しであることから、現段階では西暦の併記は行わず、計画改訂の際に検討してまいります。 このため、ご指摘いただいている箇所について、改元後は、「平成」を新元号に読み替えるものとします。
2	23	2	同上	原文のとおりとし、貴重なご意見として承ります。	同上
3	38	3	同上	原文のとおりとし、貴重なご意見として承ります。	同上
4	11	2	11頁1行目【施策の柱4 地域の文化資源の活用と継承】以降 記録、保存、アーカイブ化するという記述が必要と思われます。災害が発生した場合、個人の記録の消失やコミュニティの破壊により、伝承が途絶することがあります(無形文化遺産の防災)。 また、解説を付けた映像化・画像化は、障がいのある方、日本語を母語とされない方が、地域コミュニティの一員として、地域の文化資源に触れようとする際にも役立ちます。	原文のとおりとし、貴重なご意見として承ります。	災害が発生した際の無形文化財など地域の文化資源に関する記録の保存は、文化資源を継承していく観点からも大変重要であると考えています。 いただいたご意見も踏まえながら、文化資源の保存や活用方法について、検討してまいります。

番号	頁	章	意見概要	対応方針	市の考え方
5	17	2	<p>17頁2行目「学校や地域、民間施設などでも多種多様な活動が」</p> <p>「職場」を加えた方がいいと思います。人の人間関係に着目すると「学校」「地域」と並ぶものであり、職場のグループで文化・スポーツに関する活動が広く行われています。</p> <p>また、6行目にある「事業主」という言葉が、“業務として文化芸術活動を展開する”、“地域貢献として文化芸術を支援する”以外に、“従業員の自主的活動を支援する”立場を含むものとして生きてきます。32頁枠内の「◇職員が行う文化芸術活動への支援」を広く一般の事業所にも拡大するものです。</p>	<p>原文のとおりとし、貴重なご意見として承ります。</p>	<p>文化芸術活動の場として、「職場」も広く活用されていると認識しております。</p> <p>ご指摘の部分については、公共施設だけではなく、地域における様々な場所で文化芸術活動が行われているといった内容であり、「職場」もその一つとして「地域」に含まれるものと考えています。</p> <p>また、「事業主」の表現については、「業務として」又は「地域貢献として」文化芸術活動に関わることを想定しています。一方で、32頁の「職員が行う文化芸術活動への支援」はあくまで「富士見市の職員」の文化芸術への意識向上を目的としているため、一般の事業所を含むものではありません。</p>
6	24	2	<p>24頁1行目【施策の柱5 情報ネットワーク・広報の充実】以降</p> <p>報道機関(各紙埼玉版、ケーブルテレビ等)・沿線情報誌・情報サイトなどのメディアへのプレスリリースについて言及した方がよいと思います。</p> <p>また、学校・保育所・福祉施設や(職場としての)事業所の協力を得ての情報提供も考えられます(対 児童生徒、保護者、利用者、従業員)。</p> <p>事業所については、事業主が文化芸術に関する情報に接することで、17頁のメセナ活動や、福利厚生として事業主が補助をし「スタッフみんなで行こう」といった動きにもつながってほしいと思います。</p>	<p>「マスメディアの活用」について、ご指摘のとおり加筆します。</p>	<p>現在、事業の実施方法や対象者、対象地域などによりご指摘のメディアを含め、様々な手法で情報提供を行っているため、取り組みの方向に「マスメディアを活用した情報発信」を加筆します。</p> <p>また、近年のICTの進展等を踏まえ、SNSなどを活用した情報発信により、誰もが容易に情報収集できる仕組みづくりを進めてまいります。</p>

番号	頁	章	意見概要	対応方針	市の考え方
7	27	2	<p>27頁3行目「文化芸術振興の担い手(マネジメントやコーディネートを担当する人材)の育成は、市民の文化芸術支援の方策として大変重要な取り組みです」</p> <p>職業人として広く市内外で活躍する文化芸術振興の担い手や、文化芸術振興のマインドを持って企業や市外行政機関で働く組織人を育成する、という視点も必要なのではないのでしょうか。</p> <p>30頁2行目にあるような評価を受けるようになったからには、市内にとどまらない次代の担い手を育成するといった「恩返し」を求められる立場にあると思います。また、富士見市と縁を持った人材が将来、各地・各組織で活躍することで、本計画の複数項目で触れられている「発信力」や「ネットワーク」となって還ってくるのではないのでしょうか。</p> <p>子どもたちの職業体験、他の文化施設・教育機関・自治体・企業からインターンや研修生の受け入れ、キラリや関係課から学校・大学等にゲストスピーカーとして職員を派遣、各校就職ハンドブックへの職場紹介の執筆…など。</p>	<p>原文のとおりとし、貴重なご意見として承ります。</p>	<p>本施策の柱では、市及び市民の文化芸術事業の振興を担う人材の育成について記載しており、当該人材は、市と市民との協働により文化芸術の振興を支える担い手として育成することを目的としています。</p> <p>市及び市民の文化芸術振興を支える担い手を育成し、将来的にはその担い手が本市の文化芸術の広がりを生み出せるよう努めてまいります。</p>

番号	頁	章	意見概要	対応方針	市の考え方
8	30	2	<p>30頁下から2行目「誰もが気軽に利用できる施設運営に努めます」</p> <p>「気軽に利用」というよりは、「気軽に来館・利用」という視点の方が良いと思われま。す。「利用」は施設が目的としている機能や役割に用がある来館ですが、特に目的を持たず「来館」できる気軽さが不足している気がします。交流センターや公民館のホールですと、自習をする中高生や、新聞を読む大人、散歩の途中の休憩をする高齢者、ゲームをする子ども達がいる、地域の縁側のような雰囲気があります。</p> <p>そんなに興味はなかったけれどふらっと来館して、楽しそうな活動がチラッと見えたり、漏れてくる練習音が心地よかったり、ラックに置いてあるビラが目にとまったり…といった文化芸術との「偶然の出会い」があるように工夫していただければと思います。</p> <p>例えば、文化の杜公園利用者の休憩利用を呼び込む設備、開放的なカスケードが見える場所での試験勉強は気分転換になるので催事がない時はホール前に机、「サーカスバザール」「図書館まつり」時のような出店をもう少しコンパクトにして毎週末実施、子ども向け古本市、ストリートピアノ、婚姻届後の記念撮影スポットを市庁舎から移設…など。</p>	<p>原文のとおりとし、貴重なご意見として承ります。</p>	<p>本施策の柱では、キラリふじみの機能や性能、設備の充実について記載しています。</p> <p>「文化芸術との偶然の出会い」とのご意見ですが、ご指摘のとおり、ふとした時に文化芸術にふれられる機会があることは大変重要であると市としても考えており、12頁の「キラリふじみでの創造と発信」の中でも「地域の身近な場所で優れた文化芸術にふれる機会を提供する」としてしています。</p> <p>これらのことを踏まえ、キラリふじみの文化芸術の発信拠点としての役割や、市民・利用者のニーズの把握に努めながら、誰もが安全で快適にご利用いただける施設を提供してまいります。</p>

番号	頁	章	意見概要	対応方針	市の考え方
9	30	2	<p>30頁枠内「◇計画的な大規模改修の推進」 第5次基本構想後期基本計画156頁3行目によれば、市役所本庁舎も改修ないし改築が想定されているように思われます。これと連動した記載が必要ではないでしょうか。キラリが所在している公共施設ゾーンの各館がバラバラに「自館に必要な」改修をするのではなく、ゾーンにはどのような機能が求められているかという視点も必要です。</p> <p>例えば、市庁舎の食堂は老朽化していますが、現在の地下1階でリニューアルするよりは、キラリの美しいカスケードを望む位置に移転し土日も営業する方が良いと思います。キラリ利用者の利便性や滞在環境を改善するのみならず、カスケードで企画をする際に空調を備えた親子・敬老席としての役割が期待できるほか、他館・公園から食事を目的に足を運んだ市民がキラリの「空気」に触れるきっかけとなるのではないのでしょうか。</p> <p>また、都市計画上は「シティーゾーン」と呼称されていますが、例えば、「文化の杜エリア」といった愛称でこのゾーンの公園・公共施設群のイメージや意匠を緩やかに集約し、市民に各館を回遊してもらうような広報や設備・事業を展開していくべきかと思います。</p>	原文のとおりとし、貴重なご意見として承ります。	本計画は、市の文化芸術振興と市民の文化芸術活動の発展と継続を図ることを目的としており、本施策の柱では、文化芸術の発信拠点である施設の充実について記載しています。引き続き、誰もが安全で快適にご利用いただける施設環境を提供できるよう必要な整備を進め、施設の充実に努めてまいります。
10	38、39	3	<p>38頁から39頁にかけてのイラスト 男女の役割についてやや偏っているようにも見えます。あまり傾向性が出ないように意識した方がよいです。</p> <p>図1の有識者と思われる「第三者」が2名とも男性、図2「地域団体・町会」「市民」の小さい子の世話をするのが両方とも母親となっています。</p>	原図のとおりとし、貴重なご意見として承ります。	偏った印象を与えることのないよう、計画改訂の際には検討してまいります。